

～新型コロナウイルス感染症拡大の中での取組～

■岩手県

○いわて連携復興センター

➤一般社団法人三陸ひとつなぎ自然学校

2020年5月より、感染対策された安全安心な野外の遊び場として、「あおぞパーク」を実施。

➤特定非営利活動法人ワーカーズコープ大槌地域福祉事業所

子どもから高齢者まで障がいの有無に関わらず地域の中で暮らせる居場所を運営しているが、コロナ禍により、高齢者と子どもたちを分け、別々の場所で受け入れを行っている。

➤特定非営利活動法人りくカフェ

食育活動の一環として、コミュニティカフェ形式で健康ランチの提供を行っていたが、コロナ禍の影響でテイクアウト形式のお弁当販売で継続中。組織内で活動ガイドラインを作成し、各講座・コミュニティ支援再開の指標としている。

■宮城県

○みやぎ連携復興センター

- ・関係者ミーティングや講座等はオンラインで実施している。
- ・各団体のコロナ禍対策を電話でヒヤリングしている。ヒヤリングした情報を各団体間で共有している(電話で伝達)。
- ・県事業においてこれまでアドバイザー派遣業務は直接現地訪問であったが、オンラインでの開催を提案、許可して頂いている(同センターが機材一式を現地に持込み、アドバイザーとオンラインで繋ぐ)。
- ・自治会等へはオンラインで会議を行う練習会を企画提案し、希望者にはオンライン体験をしてもらうようにしている。
- ・直接訪問が許可されている場合は同センターから検温計や消毒液、名簿などを持参して感染防止に努めている。

➤NPO法人放課後こどもクラブBremen

普段は、放課後に児童の預かり保育を実施している。

- ・学校の休校措置の期間は、朝8時から夜7時までの預かり時間の拡大を実施。
- ・コロナ感染対策として、スタッフの増員、施設内のみではなく屋外での活動も実施。

➤NPO法人ベビースマイル石巻

- ・普段は、子育てひろばの運営・子育て相談を実施している。
- ・ZOOMにより、利用者家庭と結び、スタッフによる絵本の読み聞かせ、様々な遊びの紹介などを実施。
- ・子育ての相談対応も従来の電話・メールからLINEでの対応なども実施。

➤NPO法人こども∞(むげん) 感ばに一

- ・普段は、子どもの遊び場づくり、フリースクールの運営を実施。
- ・休校期間中も施設の開放を実施、遊びながら感染予防が理解できる「コロナなくし隊」を結成し、クイズ等を取り入れ小さい子にも理解できる感染予防対策を実施。

➤一般社団法人石巻じちれん

- ・復興公営住宅のコミュニティ形成支援業務を実施。
- ・地域の行事、イベントが延期中止になるなか、新たにZOOMやLINEを介した打ち合わせや企画を実施することで、若い世代が参加するきっかけになることを期待している。

■福島県

○ふくしま連携復興センター

➤事務局

- ・事務所内では、アクリル製のパーテーションを机上に置き、隣席同士での飛沫拡散の防止に努めている。
- ・県内の感染状況に応じて、テレワーク数の増減を調整した。
- ・県内の感染状況等を朝令等で確認した。

➤復興庁被災者支援コーディネート事業

- ・前年度、オンライン会議に必要な機材等を購入し、対外的な打合せ及び会議についてはオンラインを活用している。
- ・また、適宜テレワークを導入している。

➤福島県県外避難者の相談・交流・説明会事業

- ・前年度、オンライン会議に必要な機材等を購入し、対外的な打合せ及び会議についてはオンラインを活用している。
- また、適宜テレワークを導入している。

➤福島県復興支援専門員設置事業

- ・各種研修はアクリル板パーテーション設置必須のうえ、会場での対面式は制限を設けて（最大50名）実施、制限を超える参加申込の場合はオンライン併用のハイブリット型で実施。
- ・地域おこし協力隊及び復興支援員希望者や検討者向けの相談会はオンラインで開催（月1回の計12回を予定）。また、協力隊等希望者向けの現地見学体験会を複数市町村にて参加人数を10名以内に絞り開催する。